

英語科学習指導案

単元名「Unit 5 エミリーの家で」〔学指要領：(4) イ、エ (ウ) a、c〕

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室
 〇〇立〇〇中学校 1年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・助動詞 can を用いた文、疑問詞 who を用いた疑問文とその応答、また人称代名詞 (目的格) の用法を理解し、紹介活動において正しく用いることができる。	・小学校で、can や who を用いた文について学習しているため、意味や使用される場面についておおむね理解している生徒が多い。一方、代名詞については、既習の主格と所有格が混同している生徒もいる。
思考力、判断力、表現力等	・ALT に家族のことを知ってもらうために、家族の特技や特徴などの情報や自分の思いや考え等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話することができる。	・一般動詞と be 動詞の文を用いて、中学校での部活動や好きな科目などについて理由や気持ちを小学校の ALT に伝えることができたが、内容のまとまりや文のつながりを意識している生徒は多くない。
学びに向かう力、人間性等	・ALT に家族のことを知ってもらうために、家族の特技や特徴などの情報や自分の思いや考え等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとする。	・ALT に発表する内容について、友達と互いの発表を聞き合い、表現や ALT が知りたいことを確認して、分かりやすいように工夫して伝えようとする様子が見られる。

※目標については、1文で標記することも考えられる。

2 評価規準

知識・技能	・助動詞 can を用いた文、疑問詞 who を用いた疑問文とその応答、人称代名詞 (目的格) について、特徴やきまりを理解している。 ・助動詞 can を用いた文、疑問詞 who を用いた疑問文とその応答、人称代名詞 (目的格) を用いて伝える技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・ALT に家族のことを知ってもらうために、家族の特技や特徴などの情報や自分の思いや考え等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。
主体的に学習に取り組む態度	・ALT に家族のことを知ってもらうために、家族の特技や特徴などの情報や自分の思いや考え等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全7時間：本時第4時) ※指導に生かす評価〇、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・JTE と ALT のやり取りを聞いて単元の課題を把握し、ペアで家族紹介 (試しの活動) をする。(あ) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">単元の課題 町の人々と仲良くなってもらうために、ALT に家族紹介スピーチをしよう。</div>	ねらいに即して生徒の学習状況を見取り、指導に生かす評価を行う。		
2	・can の用法を捉え、自分や家族の特技や苦手なことなどを友達と伝え合う。(あ)			
3	・友達の家族の特技や苦手なことなどについて質問したり答えたりする。(あ) (い)			
4	・who を用いて質問しながら、家族の特技や特徴などについて伝え合う。(あ) (い)			
5	・目的格の用法を捉え、家族についての情報や自分の思いや考えを伝え合う。(あ) (い)			
6	・友達に自分の家族について紹介する。(あ)	●		
7	・ALT に自分の家族について紹介する。(あ)	●	●	●

*活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート (い) デジタル教科書

4 言語活動の価値

ALT に向けて家族紹介スピーチをするといった言語活動を行うことは、身近な ALT が町の人達と仲良くなるために家族のことを知りたいという状況により、相手に伝える必要感をもって活動に取り組めるとともに、情報や事実、自分の思いや考え等を整理し、まとまりのある内容を話す力の育成につながる。さらに、小学校で慣れ親しんだ can や who などの言語材料だけでなく、三人称単数現在の文や形容詞、代名詞等の既習表現を活用し、家族についてより詳しく適切な内容を表現する力を高めることができる。

II 本時の学習 (4/7)

1 ねらい who や代名詞を用いて質問や応答しながら家族の特技や特徴などについて伝え合う活動を通して、自分が伝えたい家族紹介の内容を整理し、そのつながりを意識して話すことができるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される生徒の意識 [S]	○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)
1 Warm up : ペアで他者紹介をする。(5分) 2 ALT からのビデオメッセージを見て、教師とやり取りし、本時のめあてをつかむ。(5分) <めあて> 友達の家族について質問したり、自分の家族の特技や特徴を伝えたりしよう。 S: 友達はどんなことが知りたいかな。	○職業や性格を表す単語や表現を家族紹介で活用できるように、大型提示装置に提示した人物について特徴を伝え合うよう促すとともに、その中で使用された単語や表現を紹介する。 【★提示・配布】 ○単元の課題を意識して活動に取り組めるように、ALT からのビデオメッセージを再度見せて、紹介活動の目的を問いかける。 【★提示・配布】
3 教科書本文の内容を理解し、音読をする。(10分) 【★再生】 T : Look at this picture. Who is this boy? Who are these girls? S1: Olivia, Max and Ryan. T : Yes, they are Olivia, Max and Ryan. Please tell me more about them. S2: They are Emily's friends. S3: Max is funny. S: 特技の他に、性格も言うとういかな。	○スムーズに教科書本文の内容理解や音読、新出言語材料の用法に気付くことができるように、事前に家庭学習でデジタル教科書を活用して確認させた本文内容について、生徒とやり取りする。 ○ペアでの紹介活動に教科書本文の流れを生かせるように、デジタル教科書本文を部分的に消し、語句を補いながら音読をするよう促す。
4 友達の家族について尋ねたり、自分の家族について詳しく伝えたりする。(25分) 【★思考の補助】 【★再生】 ① 伝える内容を整理し、ペアで紹介し合う。 S: 友達に兄のことがきちんと伝わるかな。 S1: (家族写真を見せて) S2: Who is this man? S1: He is my brother, Kento. He is a high school student. He is fifteen years old. He is kind. He like basketball. He can play basketball. ② 伝えたい内容や用いる表現を確認する。(中間評価) T: What did you talk about? Do you have any questions? S: About my brother. He can play basketball. He like basketball. T: Your brother likes basketball. He likes basketball. He can play basketball. How tall is he? Is he tall? S: Yes. S: 「背が高い」と言えばもっと兄の特徴が伝わるな。 S: can を使わない時は、like に s を付けるのだったな。 ③ 内容を見直し、ペアを変えて再度紹介し合う。 S: 1 回目よりも詳しく内容を付け加えられたぞ。 ④ 友達に伝えた家族の紹介文を書く。【★保存・提出】 This is my brother. His name is Kento. He is fifteen years old. He is a high school student. He likes basketball. And he is very tall. So he can play basketball well. And he is kind and friendly.	○家族について内容を整理して伝えることができるように、デジタル教科書のテキストボックスをメモとして使うよう助言する。 ○2 回目の紹介活動に向けて、正確性を高めたり、用いる表現や伝える内容を広げ、深めたりすることができるように、中間評価では、生徒が伝えたことや表現したいこと、who などの新出言語材料を含む表現を紹介する。 ○相手に家族のことがより詳しく伝わる、内容のつながりがあるスピーチになるように、伝える内容や順番、接続詞等を意識するよう促す。 ◆評価項目 (知・思) 指導に生かす評価 ペアで紹介し合う場面において、「who や代名詞を用いて質問や応答しながら、家族の特技や特徴などを整理し、内容のつながりを意識して話しているか」を評価する。 ○用いる英語の正確性を高め、次時の活動に生かせるように、ロイロノートに英文を書いたり、入力したりするよう促す。その後、提出された英文について can を用いた英文を確認し、次時までにはフィードバックする。
5 言語面・内容面から学習の振り返りをする。(5分) 【★保存・提出】 <振り返り> S : who を使って質問できたり、He can を使って兄のことを紹介できたりした。兄が得意なことについて、内容のつながりを意識しながら伝えられた。今度は料理が得意な母についても伝えたい。	○生徒がこれまでの学びや変容を自覚し、次時の活動への意欲をもてるように、振り返りを共有し、本時の取組を称賛する。 【★一覧表示】